

～大きさ～  
【発達領域】考えることの発達



### 大きい丸・小さい丸

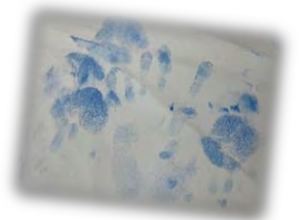
スナップビーズを繋げて大きな丸と小さな丸を作ると、輪の中に入る子どもたち。2.3人が入れる大きな丸と1人しか入れない小さな丸を作ることによって大きい方にはお友だちと入ることが出来ますが、小さい方には1人でしか入れないことに気づきました。

丸の中に入った子どもたちは座ってリラックスしたり電車やバスごっこを始める姿が見られました。大きい電車は「ゴーゴー!」「ガタンゴトン」と言いながら進んでいました。小さい丸を持っている子は1人でゆっくり進んだり、お友だちの後ろをついていったり自分のペースで進むことを楽しんでいるようでした。お友だちだけでなく、赤ちゃん人形や保育者と入る姿も見られ、大きさによって自分が入れる空間を理解することが出来ていると感じました。

### 手の大きさ

手の形をクレヨンでなぞって手形を取ることに興味を持つことが増えたので、スタンプを使って自分たちの手の大きさを見てみようと思っ真つ白な紙を用意しました。保育者が手形をつけると子どもたちは真似て片手や両手で手形をつけ始めました。「ペタペタ」とつけることを楽しみ、手形がつくと「みて!」と出来たことを教えてくれました。友だちの手の大きさを見たり、保育者の手形を見て「せんせいの手おおきいね〜」「〇〇ちゃんは小さい?」と問いかけると「おおきい〜!」「ちっちゃい!」と子どもたちから声が聞こえてきました。

普段手を繋いだりハイタッチをしたりたくさん手に触れる機会がありますが、この活動を通して自分の手の大きさを知り、友だちと比較することで”少し大きい””少し小さい”に触れたり、保育者との比較で”大きい””小さい”の概念を理解することが出来ました。





### 大きい葉っぱ・小さい葉っぱ

お兄さん・お姉さんから大きな葉っぱと小さな葉っぱを分けられました！初めて触れる大きな葉っぱを手にとると「おっきい！」と驚く声が聞こえてきました。葉っぱを渡すとじっと見つめたり顔を隠したり、匂いを嗅いだり様々な反応が見られました。顔を隠していた子に声をかけると「ばぁ！」と顔を出したり葉っぱの隙間から顔を覗かせて微笑えんだり楽しんでいました。

小さな葉っぱは持ちやすく、両手に持って歩いたりパタパタとうちわのようにしていました。また、大きい葉っぱと比べたときに「ちっちゃい！」と言葉が出たり「おっきいの、ちゅうだい」とお話する子もいました。たくさん葉っぱに触れることを楽しんだ後は傘に見立てて頭に葉をのせたり、歌いながらお部屋の中を歩きました。

友だちの葉っぱと比較したり自分の体の部位と比較したりすることで”大きい” ”小さい”を理解したり、自然物に触れることで触覚や嗅覚などが育てられていきます。



?!



おっきい!



### 高い

積み木やブロックを積み重ねる子どもたち。保育者が少ししかけをするとそこから自分たちで夢中になり、積み上げます。始めは座って重ねていましたが、高くなってくると立ち上がって積む姿が見られるようになりました。「みて！」と保育者に教えてくれ、「すごい！高いね〜」「〇〇くんよりも大きくなったよ！」と喜びを共感すると、子どもたちからも「高いよ!」「おっきいね〜」と言葉が出てきました。積み上げる遊びを通して”高い”を理解し、高く積んだものを崩してもう一度やることで次はもっと高く積んでみようかと挑戦する子どもたちでした。

